

神のかたちに造られた人間だから…

## 新 結婚って？ 教えて、まり子先生！その17

### 愛の冷える時代での、夫婦の危機管理 パート5 「子育ての中の危機」 子育てストレスに打ち勝つ、夫婦のチームワークは？

日本ホーリネス教団 川越のぞみ教会牧師  
家族と結婚のカウンセラー FFIJ評議員

西岡 まり子

## 子育てタイプの違い・・・育てられたように育てる －方針の違い、価値観の違い、習い事、進学、生活習慣…－

「モー、どうしてこの子は言うことを聞けないの、言うこと聞けない子は…」母に腕をつかまれ、裁縫の長い竹尺で、ビシッと腕を、いや、おしりをたたかれた記憶があります。どうして怒られたのか、定かではないのですが、お箸の持ち方か、線の引き方を母の言うとおりにしなかったからだと思います。お箸の持ち方は今でも間違ったままです。自分が上手にできないことをどうしてそこまで言われるのか、理解できずに心を閉ざしていました。だから、反抗的な態度になっていたのでしょう。

そのように育てられた私は、自分の子育てでも同じように、言うことを聞けない子に手を上げていたのです。しかし、ある日、娘が癩癩をおこし物をたたいている姿をみた時、正すために罰としての痛みをもって教えても、伝わるのは怒りと恐れで、恐れゆえに行動は修正できても、同じように怒りを力（暴力？）で発散するようになることを知り、その日から、手を上げることはやめました。「父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。」（エペソ6：4）とあるように、怒りが心に貯まってしまいうような育て方ではなく、時間と忍耐はかかりますが、諭すように（口語訳）取り組みを変えたのです。

人は育てられたように育てます。もちろん、反面教師として受け止め、親とは違う育て方を選択する人もいることでしょう。夫婦でも、違う家庭から来るために、育て方は様々です。

我が家の場合、夫は、温かくて包容力豊かな、自由な母に育てられました。ほとんど怒られた記憶がないと言います。私は、厳しい母にしっかりしつけられたため、母に怒られた記憶ばかりあります。それだけでも、違いが目につくことでしょう。

この子育てタイプの違いは、生活習慣全般に及び、さらに、習い事、進学等の人生設計においても顕著になってきます。習い事などする必要はないと考える人と、自信をつけるためには、小さい頃から始めた方が良いと考える人。そんなこと考えてもみななかった人もいることでしょう。

パパもママも子どもを大切に思うゆえに、自分の考えを譲れないのです。自分が育てられた価値観は無意識のうちにならざるを得ず、間違っていると思われる相手への批難が生じ、子育ての協力関係が損なわれていくのです。では、子育ての価値観の違いについては、どうしたら良いのでしょうか？